

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	7 月	17 日	記入者	鶴田吉範	
調査者名	饗庭	石井	大谷	垣内	久門	鶴田

文化財名	達磨寺石塔埋納遺構					
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他（建造物）	
指定年月日	2014年(平成26)3月28日					
所在地	北葛城郡王寺町本町2-1-40					
所有者 管理者	達磨寺					
員数	一基					
時代区分	鎌倉時代					
樹木の場合	(樹木名) —			(樹齢) —		
案内板の状況	有り。本堂前に設置され状態は良好、県教育委員会が作成。					
公開	土日公開(平日は事前連絡要)					
保存状態	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足（石塔埋納遺構は本堂内の展示ケースに保管されている。）					
当面の課題	保管や説明板の設置はきっちりとされており、速やかに対応すべき課題はない。					
今後の課題	達磨寺全体の国、県、町文化財がきっちり管理されており、又、「王寺観光ボランティアガイドの会」の組織が拝観者への対応をされており、今後の課題と言うべきものはない。					
その他 (由緒など)	13世紀前半(鎌倉時代)に達磨大師の墓とされる古墳時代後期の円墳(達磨寺3号墳)が整備され寺院として開基する時に構築された。2002年(平成14)の本堂建替えによる発掘調査で発見され、本堂地下に小石室をつくり石塔が入っていた。石塔の中には合子が、その中には舍利容器が、さらにその中には仏舎利が入っていた。達磨大師への追慕の念を込めて納められたと考えられている。					
コメント	通常地上に建てられる石塔を地下に納めた遺構として貴重な事例。埋納遺構は東西約14m、南北約11.5m、高さ1.9m。自然石と瓦で一辺約50cm、深さ約80cmの石室を設け、上を板石の蓋で覆われていた。宝篋印塔は凝灰岩で高さ73.5cm、合子の中に入っていた水晶五輪舎利容器は高さ2.5cmで、その中に入っていた舎利は石英片岩で2.8×1.3mmの小さいものだった。案内は「王寺観光ボランティアガイドの会」の方をお願いした。1号墳(雪丸塚)・2号墳、本尊(3坐像)、達磨寺中興記石幢など文化財が多数有る、聖徳太子「飢人伝説」で有名なお寺である。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	7 月	17 日	記入者	鶴田吉範	
調査者名	饗庭	石井	大谷	垣内	久門	鶴田

文化財名	達磨寺石塔埋納遺構
------	-----------

説明板(県教育委員会)

県史跡 達磨寺石塔埋納遺構
 History Site Designated by Nara Prefecture
 Buried Remains of the Stone Pagoda at Daruma-ji Temple

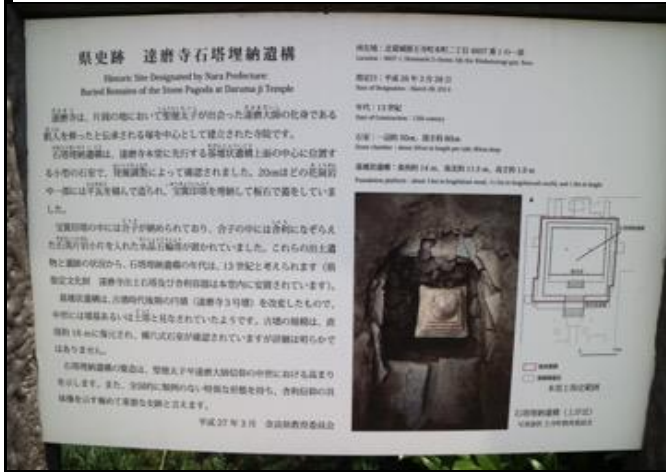
達磨寺は、片岡の地に於いて聖徳太子が出家した達磨大師の化身である
 真人を祀ったと伝承される塚を中心として建立された寺院です。
 古くは阿曇朝に、達磨寺本堂に先行する塚塔遺構上部の中心に位置す
 る小石の石室で、埋納遺構によって確認されました。20mほどの範囲
 の中心には平瓦を鋪いて造られ、宝篋印塔を埋納して板石で蓋をしていま
 した。

宝篋印塔の中心には合子が納められており、合子の中には舍利になぞらえ
 た水晶製の五輪塔型舎利容器が納められていました。これらの出土遺
 物と遺構の対応から、石塔埋納遺構の年代は、13世紀と考えられます(前
 掲定之丸)。達磨寺出土の瓦及び舍利容器は本堂内に実測されています。

基壇は遺構は、阿曇時代後期の円筒「達磨寺石塔」を改造したもので、
 中心には埋納あるいは土層と見なされていたようです。遺構の層間は、遺
 物とほぼ一致する。層の厚さが確認されていますが詳細は明らかで
 はありません。

阿曇朝後期の遺構は、聖徳太子が達磨大師の化身に扮したと伝承され
 ています。また、宝篋印塔の中心に特別な形を持つ、舍利容器の同
 類品が出土したことが確認されています。

平成27年3月 奈良県教育委員会




達磨寺案内板

達磨寺本堂正面

